

情報公開

HRCT でみられる肺気腫の重症度に応じて肺炎の予後に及ぼす影響や

臨床的特徴を検討する後ろ向き研究について

聖マリアンナ医科大学では、以下の人を対象とする医学系研究を実施いたします。この研究は、本学の生命倫理委員会（臨床試験部会）の承認ならびに学長の許可のもと「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。なお、この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。

この研究への協力を希望されない場合や、この研究に関するお問い合わせなどがございましたら、下記「11. お問い合わせ先」のお問い合わせ先までご連絡いただけますようお願いいたします。

2022年11月29日

1. 研究課題名

HRCT を用いた肺気腫の定量的評価が市中肺炎の予後に及ぼす影響や臨床的特徴の検討

2. 情報の利用目的

この研究では、肺炎で入院された患者さんの CT 画像と臨床情報等を収集し、CT 画像における肺気腫をソフトウェアによって重症度別に分類して肺炎の予後に及ぼす影響や臨床的特徴を検討することを目的としています。この研究により肺気腫が併存する肺炎患者さんの予後予測に繋がると期待しています。

3. 情報を利用する者の範囲

研究責任者

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 放射線科 淵上淳也

4. 情報の管理について責任を有する者の氏名または名称

研究責任者

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 放射線科 瀧上淳也

5. 対象となる患者さん

2019年6月1日から2022年10月31日までに臨床的に肺炎が疑われ、聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院を受診し、胸部CT検査を実施した方

※上記に当てはまる場合でも、この研究への協力を拒否する意思表示があった患者さんのデータは、研究対象とはしません。

6. 研究に用いるカルテ情報

対象患者さんの基本情報（年齢、性別、身長、体重、BMI、喫煙歴、飲酒歴、既往歴、バイタルサイン、症状、家族歴、血液検査（血算、TP、ALB、BUN、Cre、T-Bil、Na、血糖、CRP、pH、PaO₂、PaCO₂）、画像所見(CT)、細菌検査、入院日数、ICU入室歴、人工呼吸器使用歴、昇圧薬使用歴、最大酸素投与量、酸素投与期間、投与した抗菌薬）

7. 研究期間

承認日～2023年10月31日

8. 個人情報の取扱い

この研究では、研究用 ID を使って患者さんの情報を管理します。患者さんの個人情報と研究用 ID を結びつける情報（照合表）は当院内で厳重に管理し、院外に持ち出すことはありません。研究に利用する患者さんの個人情報に関してはお名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報が明らかになることはありません。また、研究成果は国内外の学会ならびに英語論文で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公開されません。

9. 研究対象者の求めに応じて情報の利用を停止すること

情報をこの研究に利用することについて患者さんまたは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合は、いつでもその利用を停止することが可能です。

情報利用の停止を希望される場合は、以下の連絡先までご連絡をお願いいたします。

利用停止を受け付けた場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

せん。

10. お問い合わせ先

ご希望があれば、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧することができます。

この研究に関するご質問等がありましたら以下の連絡先までお問い合わせください。

【連絡先・相談窓口】

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 放射線科 瀧上淳也

住所：〒241-0811 神奈川県横浜市矢指町 1197-1

電話：045-366-1111